

# 要約 京都の経営経済動向調査結果 (2008. 12. 25)

- 2008年10~12月期実績と2009年1~3月期及び2009年4~6月期予想 -

京都商工会議所  
担当：中小企業経営相談センター  
電話 (075) 212-6467

## 国内景気はバブル崩壊後を上まわるマイナス ～ 景気の後退局面が鮮明に ～

### 概要

世界的な金融不安と景気後退が広がるなかで、国内景気、自社業況とも一段と悪化した。国内景気動向は▲41.1と、バブル崩壊後の1992年1~3月に記録した▲40.6を上回る低水準。6期連続の下降となり、今後についても全業種で下降を見通すなど、景気の後退局面がより鮮明となった。自社業況についても、国内外の急速な需要の冷え込みや円高の急進など経営環境が急激に変化するなかで、大企業、中小企業とも各指標が大きく悪化した。今後についても、中小企業を中心に多くの業種で厳しい見方をしており、先行き悪化懸念が強まっている。

(注) 11月下旬から12月上旬にかけ同調査を実施し、619社中529社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また10~12月期のBSI値は、2008年7~9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

### I 国内景気動向

10~12月期BSI値は、▲41.1(前期実績▲34.2)となり、大幅に下降した。今後についても、2009年1~3月期はBSI値▲40.0と引き続き大幅なマイナスで推移し、続く4~6月期も▲23.4と先行き悪化懸念が強まる見通しとなっている。

### II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 10~12月期BSI値は、▲14.8(前期実績▲17.5)と一段と下降した。また、今後の見通しについても、2009年1~3月期は、不需要期に当たることから▲27.1とすべての業種で大幅なマイナスとなり、続く4~6月期も▲15.6と、悪化傾向で推移する見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 10~12月期のBSI値は、▲10.4とさらに減少した。今後の見通しについて業種別に見ると、2009年1~3月期は鉄鋼、旅館・ホテル、食料品製造、非鉄、食料品卸など、情報・事業を除くすべての業種で大幅に減少し、続く4~6月期は、建設業、窯業・土石、機械金属卸、鉄鋼、染色など多くの業種で減少する見通しとなっている。

2. 製・商品・サービス・請負価格 10～12月期のBSI値は、▲4.1と一転下降した。今後の見通しについて業種別に見ると、2009年1～3月期は、鉄鋼、旅館・ホテル、木材・木製品製造、非鉄などほとんどの業種で落ち込み、続く4～6月期は、季節的要因から旅館・ホテル、その他サービスで上昇するものの、多くの業種は精彩を欠き、下降を続ける見通しとなっている。
3. 経常利益 10～12月期のBSI値は、▲11.7と、さらに減益となった企業が増加した。今後の見通しについて業種別に見ると、2009年1～3月期はすべての業種で大きく減益を見通し、続く4～6月期は、旅館・ホテル、運輸・倉庫業で増益を見通すものの、製造業や建設業など多くの業種で減益を見通しており、引き続き減益基調をたどる見通しとなっている。
4. 所定外労働時間 10～12月期のBSI値は、▲1.8とやや減少した。今後の見通しについては、2009年1～3月期は、製造業とくに繊維製造、鉄鋼、非鉄、精密機械、電気機械や、不需求期にあたる旅館・ホテル、食料品卸などの業種で減少した。続く4～6月期は、季節的要因から旅館・ホテル、運輸・倉庫業などで増加するものの、多くの業種で減少傾向は続く見通しとなっている。
5. 製・商品在庫 10～12月期の製・商品在庫は、一部に過剰感が見られたものの、「適正」とする企業が72.5%と概ね適正水準で推移した。今後の見通しについて業種別に見ると、繊維製造、繊維卸などの繊維関係と、窯業・土石、精密機械などで過剰感が見られた。今後についても、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 10～12月期のBSI値は、BSI値▲7.1と悪化傾向で推移した。今後の見通しについて規模別に見ると、大企業はゆるやかにマイナス幅を狭めるものの、中小企業では依然悪化傾向を強めており、慎重な見方をしている。

### Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(66.4%)が前回に続き第1位になった。第2位は「原材(燃)料高」(29.7%)で、第3位に「過当競争」(27.6%)、第4位に「製・商品(請負)価格安」(24.4%)、第5位に「人件費負担増大」(17.0%)と続いた。1位、2位とも前回調査と同順位だが、「原材(燃)料高」は大きくポイントを下げた。

国内景気	実績			予想						
	2008年10～12月期			2009年1～3月期			2009年4～6月期			
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	
総計	▲41.1	4.0	86.2	▲40.0	1.0	81.0	▲23.4	5.9	52.6	
規模別	大企業	▲39.4	6.0	84.7	▲37.6	1.3	76.5	▲15.9	9.5	41.3
	中小企業	▲41.8	3.2	86.7	▲41.0	0.8	82.7	▲26.3	4.5	57.0
業種別	製造業	▲42.6	2.2	87.4	▲41.0	0.7	82.7	▲23.6	4.8	52.0
	卸売業	▲43.5	4.3	91.3	▲42.1	0.0	84.1	▲24.7	7.2	56.5
	小売業	▲40.0	4.0	84.0	▲38.0	0.0	76.0	▲22.0	0.0	44.0
	建設業	▲42.7	2.9	88.2	▲33.9	0.0	67.7	▲23.5	5.9	52.9
	不動産業	▲36.9	5.3	79.0	▲44.8	0.0	89.5	▲36.8	5.3	78.9
	運輸・倉庫業	▲46.6	0.0	93.1	▲44.8	0.0	89.6	▲31.1	3.4	65.5
	サービス業	▲32.3	11.4	75.9	▲35.3	3.8	74.4	▲15.4	11.6	42.3

※ B.S.I.値 =  
(上昇[増加、他] - 下降[減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$

自社業況 (総合判断)	実績			予想						
	2008年10～12月期			2009年1～3月期			2009年4～6月期			
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	
総計	▲14.8	20.5	50.0	▲27.1	6.7	60.8	▲15.6	13.1	44.2	
規模別	大企業	▲14.9	20.9	50.7	▲22.6	8.8	54.0	▲9.7	16.6	35.9
	中小企業	▲14.8	20.2	49.7	▲28.9	5.8	63.5	▲17.9	11.8	47.5
業種別	製造業	▲21.3	15.4	57.9	▲29.4	6.3	65.0	▲18.5	10.8	47.8
	卸売業	▲15.4	22.1	52.9	▲33.1	3.0	69.1	▲15.5	13.2	44.1
	小売業	▲2.0	36.0	40.0	▲28.0	4.0	60.0	▲12.0	8.0	32.0
	建設業	▲20.6	14.7	55.9	▲16.2	8.8	41.2	▲29.5	0.0	58.9
	不動産業	▲11.1	5.6	27.8	▲19.4	5.6	44.4	▲22.2	5.6	50.0
	運輸・倉庫業	8.9	35.7	17.9	▲21.4	3.6	46.4	▲1.8	21.4	25.0
	サービス業	▲2.6	32.1	37.2	▲21.8	12.8	56.4	▲3.9	27.3	35.1